

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

古都勝人議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 鳥獣被害の対策状況について</p> <p>①今年度、現在までの捕獲、駆除等の実績について伺う。</p> <p>②猟友会の組織の状況はどの様になっているのか。また、地区別の人的構成と装備の状況について、そして実績はどうなっているのか。</p> <p>③猿、鹿、カラス、による被害をよく聞くがその状況と対策について伺う。</p> <p>④カワウの対策の状況と実績について伺う。</p> <p>2. 農地の流動状況について</p> <p>①移動農地は年間、どれだけあるのか。また、移動先別の状況について伺う。</p> <p>②農地利用最適化推進委員の設置がなされた新農業委員会での農地流動化手順はどの様になっているのか伺う。</p> <p>③大規模経営体または大規模経営個人の今後、受け入れ可能面積と離農による移動面積はどの様に推計されているのか伺う。</p> <p>3. 農業イメージアップ化検討事業について</p> <p>①組織について伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①イノシシ199頭、鹿4頭、アナグマ等26頭。</p> <p>②町内に7支部、会員は46名。</p> <p>③猿は平成26年～28年石見地区を中心として家庭菜園を中心に被害、鹿は目撃情報が増加、カラスは平成28年度、被害報告なし。猿対策は、無線連絡と追い払いの実施。</p> <p>④日野川漁協が中心となり、町猟友会に駆除委託、平成28年度（現在）11羽</p> <p>2.</p> <p>①平成27年中においては、約219haの農地の移動があり、うち約189haが担い手に移動している。</p> <p>②従来は、相談窓口として地区選出の農業委員及び農業委員会事務局であったが、本年5月から農地利用最適化推進委員も新たに加わったことにより、中間管理機構への橋渡し等相談体制が充実することになった。</p> <p>③大規模経営体または大規模経営個人の受入可能面積は約46ha、離農による移動面積は約294haと推計される。</p> <p>3.</p> <p>①KPIを「新規就農者数」に変更したことにより、取組内容も「半農半×ライフプラン」の構築に変更したため組織化は行っていない</p>

<p>②現在までの取り組み状況について伺う。</p> <p>4. 旨い野菜の里づくり事業について ①現在までの取り組み状況と成果実績について伺う。</p> <p>5. 人材確保状況について ①町民に一番関わりのある、役場、病院、保健センター、日南福祉会関係などにおいて人材確保が急がれているが、その後の状況について伺う。</p>	<p>い。</p> <p>②「半農半Xライフプラン」を構築し、ダブルインカムを目指し協議を行っている。</p> <p>4. ①平成27年度から野菜振興を総合的に推進している。基幹4品目に対して2つのプランを策定して推進中である。</p> <p>5. ①役場の職員は今後3年間で8名退職予定。職員募集は全国を対象に公募している。本年度は再募集をする。 病院は県内外への訪問などを進め、今年度に薬剤師1名、新年度には看護師1名、理学療法士1名を採用予定。 保健師は全国を対象に募集しているが、応募が少なく、今年度は採用が困難。 福祉会では、町の奨学金制度を活用しており、28年度では2名の採用を行っている。今年度は2名の奨学金の申請がある。</p>
--	--

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

## 坪倉勝幸議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁（要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 農業政策について</p> <p>高齢化や農地基盤の不良などにより、地域の資源でもある農地が荒廃している現状がある。また、地域農業を中心的に担う担い手の確保・育成が必要である。</p> <p>①認定農業者、集落営農組織、準経営体、新規就農者をどう育成・確保していくのか。</p> <p>②担い手への農地集積をどう進めるのか。</p> <p>③農地利用最適化推進委員の具体的業務をどう捉え、実行していくのか。</p> <p>④耕作放棄地対策と生産性の向上のために農地基盤の整備が必要である。積極的に推進する考えはないか。</p>	<p>1.</p> <p>①それぞれの経営体の進度に応じた支援策を講じる。</p> <p>②既存の制度を活用し、人・農地プランに位置づけた担い手にそれぞれの地域情報を提供し、連携を図り、進めていく。</p> <p>③本年4月から設置されるよう義務付けられた農地利用最適化推進委員は、日南町農業委員会では9名で活動していただいている。従来は農業委員が法令審議及び現場活動を実施していたが、法改正により主に農地利用最適化推進委員が定められた区域で現場活動を中心に実施していただいている。</p> <p>④地域の状況を踏まえ、適切な事業を活用し進めていく。</p>

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

## 近藤仁志議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁（要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 中心地域と集落を結ぶ交通体系の在り方について</p> <p>①日南町公共交通総合計画策定における調査事業報告書が取りまとめられ、多くの課題と要望が寄せられている。その中で高齢者への対応について伺う。</p> <p>②バス利用は小学生・中学生の通学以外には高齢者の通院・買い物利用が中心となっているが、行動パターンに適應したダイヤの改正を望む声が多い。その対応はできるか。</p> <p>③デマンドバスに期待する声とは裏腹に利用者は伸び悩み、デマンドバスを充実させれば民間事業者を圧迫する。共存できる方法はないか伺う。</p> <p>④デマンドバスに対する行政負担額は利用者一人当たり、石見線15,087円、福栄線10,860円、大宮線9,283円、山上線4,631円、多里線3,161円となっている現状と、「サービスが低下してもバスの財政負担を減らし、その分他の移動サービス（タクシー利用助成等）を充実」との要望割合がおおむね各世代で20%を超えている。ドア・トゥ・ドアの観点からも思い切ったタクシー助成はできないか。</p>	<p>1.</p> <p>①町営バスにつき、一部時間帯におけるフリー降車を導入し、なるべく家の近くで降車出来る仕組みを構築する。また、停留所から離れたところに住まれる高齢者が気軽にお出かけが出来るような施策を現在検討中。</p> <p>②現段階では乗務員の数に限りがあり、対応は困難な状況。バスの運行本数やJRとの接続に関しても大きく影響が出るため、それらを総合的に判断しながら対応の可否を行う。</p> <p>③町営バス・民間事業者（※日南町ではタクシー事業者）がそれぞれ担うべき分野を明確化することで共存は可能であり、新たな施策の中でこの点を示していく。</p> <p>④既存の公共交通機関を有効活用することは最重要事項であると考えており、タクシー助成の導入については選択肢の1つとして検討中。</p>
<p>2. 農地及び農村社会を維持するための方策について</p> <p>①イノシシ被害防止の為ワイヤーメッシュ柵や電牧柵を設置して、各地区で対応しているが被害総額は。また、防ぎきれない箇所として県</p>	<p>2.</p> <p>①平成28年度は、現在まで572千円。グレーチング設置は、費用対効果を考えると効果実証をすべきと考える。</p>

<p>道、町道、農道等からの侵入であり、その対策として道路へのグレーチングの設置が有効であるとの実証事例が報告された、本町において対応が可能か伺う。</p> <p>②農業・農地を守ることは地域・農村社会を守る事であり、高齢の地主の方は将来の耕作に不安を抱えている。受け入れ態勢づくりが急がれるがその取り組みは。</p> <p>3. 道の駅の在り方について</p> <p>①観光・移住・定住情報発信拠点として観光協会を移し、道の駅事業者とタイアップした体制をとれないか。</p> <p>②道の駅オープン前より日南ブランド商品開発と並行して販路拡大の必要性を提唱したが、取り組みが見えてこない。取り組み内容と進捗状況は。</p>	<p>②農地は、地域内での適正な流動化が大前提。地域・集落でのしっかりとした話し合いが大切と考える。</p> <p>3.</p> <p>①観光案内窓口の道の駅設置について検討している。併せて移住・定住情報の発信もしていきたい。</p> <p>②広範囲からの来店、販売拡大のため、山陽方面等への情報発信を行っている。ふるさと納税の返礼品やネット通販も検討している。</p>
--	---

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

## 久代安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 森林・林業政策について</p> <p>①11月19日に大建工業、日南町森林組合、(株)オロチと日南町との間で基本合意した日南町「木材総合カスケード利用事業」の事業概要と今後の展開について問う。</p> <p>②8月の臨時議会で可決した「木質バイオマスエネルギー資源の調査」との関係についても説明を求める。</p> <p>③12月定例会の補正予算で提案予定の「木材加工流通施設等整備事業」についての詳細を明らかにされたい。</p> <p>④今年7月に日南町森林組合が組合員に行ったアンケート調査の結果を町としても情報を共有して生かすことが大切だと考える。どのように分析・評価しているか。</p> <p>⑤日南町の成長戦略の柱として取り組まれてきた森林・林業政策で、雇用機会の拡大と経済的な波及効果をどのように認識しているか。</p>	<p>1.</p> <p>①木材を製品のみならず、無駄なく、効率的に、利用すること。今後は、4者で利用検討プロジェクトを立ち上げ、協議していく。</p> <p>②このたびの「木材総合カスケード利用」の事業計画を「木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入策定事業」による木質バイオマスエネルギー事業化可能性調査にも反映させていく。</p> <p>③日南町森林組合を事業主体として、山土場での選別作業をせず、集積場まで搬出し、用途に応じて選別するための機械設備等の導入事業である。</p> <p>④現在集計中と聞いている。結果ができれば、林業施策に反映させていく。</p> <p>⑤伐採、搬出、加工など、各分野で雇用が増加しており、経済的な波及効果は24億円を超えるものと推計している。</p>
<p>2. 「部落差別の解消の推進に関する法律案」について</p> <p>①先に通常国会で議員提案され現在開会中の臨時国会の法務委員会で可決された、「部落差別の解消の推進に関する法律案」は、「部落差別」を固定化する法案であると考えが。</p> <p>②こうした法案が国会に提案されていることを機に、これまで日南町が行ってきた「人権・</p>	<p>2.</p> <p>①インターネットによる新たな形態の部落差別が行われており、その対策としての法案であり、差別を固定化するものではないと考える。</p> <p>②環境改善は進んできたが、近年差別事象が発生するなど部落差別は解消されていない</p>

<p>同和対策事業」について、現時点での到達をどのように評価しているのか。</p>	<p>と考えている。</p>
---	----------------

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 日南町男女共同参画について</p> <p>①男女共同参画社会基本法を基に、日南町男女共同参画推進条例を平成25年4月に施行され、「第3次日南町男女共同参画推進計画」平成26年～30年迄の5ヶ年計画を作成された。平成28年度の取り組み状況を伺う。</p> <p>②男女共同推進委員会の26年度、27年度、28年度の開催実績を伺う。</p> <p>2. 人口ビジョン総合戦略について</p> <p>①第3者評価委員会の見直し後、具体的内容の統廃合やKPIの数値はどうなったのか。</p> <p>②担当課・担当者は明確になったのか。</p> <p>③各課との連携や連絡会議の開催状況はどうか。</p>	<p>1.</p> <p>①今後委員会で協議をし、町内企業の休暇制度等の状況把握に取り組みたい。</p> <p>②平成26年度は5回、27年度の5回、28年度は今後開催予定。</p> <p>2.</p> <p>①KPIの統廃合や、数値目標の設定については、自己評価を行い、設定の見直しをしたところであるが、今回はさらに評価委員会を経た上で最終的に見直しを行なった。各事業の数値については別途公表の予定。</p> <p>②担当課・担当者については、当初の計画策定の段階で明確化されており、引き続き担当職員が責任を持って各事業を進めていく。</p> <p>③自立改革推進本部を中心に各課より聞き取りを行い、各課で担当する事業をどのように今後進めていくのかという点についてその都度ヒアリングを実施している。</p>



日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

## 山本芳昭議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁（要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 学力向上の取り組みについて</p> <p>①様々な取り組みをされているが、例えば標準学力テスト等についてどのように分析、活用されているか伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①各教科の平均得点やその経年変化、分布等から学力の定着度を把握すると共に、苦手な領域等を明確にして、日々の授業づくりや補充学習の工夫に活かしている。</p>
<p>2. 部活動について</p> <p>①人数不足で存続が危ぶまれる部があるように思われる。例えば日野郡の中学校で一緒に部活動を行う、又は部活動としてではなくクラブ活動として行う事も考えられる。現在の状況、今後の取り組みについて伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①現在は、バレー部女子が日野中学校と合同チームを編成しており、それ以外の部は単独で活動している。今後、他の学校と合同チームを編成することも選択肢の一つである。部活動を廃止して社会体育のクラブに移行することは考えていない。</p>
<p>3. 一貫校について</p> <p>①一貫教育をより充実したものにするため小中一貫校にすることを検討してはどうか伺う。</p>	<p>3.</p> <p>①小中学校が別々にあることでのメリットもあるため、現時点では小中学校を一つの学校にすることは考えていない。</p>
<p>4. 日南町交通体系について</p> <p>①買い物や通院の支援が重要だが、どのような方法を考えているか伺う。</p>	<p>4.</p> <p>①近藤議員の質問で答弁をしたとおり。</p>
<p>5. 家電5品目の処分について</p> <p>①清掃センターの改修により、特定家電5品目を回収できないか伺う。</p>	<p>5.</p> <p>①このたびの清掃センターの改修は、新たに回収を開始した小型家電の一時保管スペースを確保するためのものであり、特定家電を回収し、一時保存できるほどのスペースはない。ただ、将来的には、町民のニーズ等を調査し、特定家電回収の方向性を決定する。</p>

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

## 足羽 党議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 社会体育施設の改修について</p> <p>①日南町過疎地域自立促進計画で、平成30年度に社会体育施設の整備を計画を予定されている。その中に「耐震補強を目的とした施設の改修」とあるが、どれだけ町民の意見を盛り込んだ設計で施設の利用促進や有効活用に取り組んで行かれるのか伺う。</p> <p>②体育館の設計・施工の入札の際、金額で競わせるのではなく、予算範囲内で設計・施工の内容を重視した技術力を競わせる入札を行い、将来を見据えて、健康増進施設を兼備えた、社会体育館施設ができないか。</p> <p>2. 障がい者グループホーム整備について</p> <p>①日南町過疎地域自立促進計画では、平成29年度に障がい者グループホーム整備計画を予定されているが、近年、家族や本人との会合もなく、状況把握ができていない。現在までの進捗状況と来年度に向けての取組みを伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①耐震化に対応するための社会体育館建て替えに関して、町民の方々の意見をお伺いしているところである。より多くの方に利用していただけるよう、いただいた意見を参考にして施設設備の充実を図っていきたい。</p> <p>②町民の方々から健康増進施設を望む声を聞いている。社会体育施設との関わりも含めてより多くの意見や提案を聞き、検討して行きたい。</p> <p>2.</p> <p>①平成27年4月策定の「日南町障がい者プラン」では、障がい者グループホームを平成31年度までに整備する計画としている。平成28年4月から33年3月を計画期間とする「日南町過疎地域自立促進計画」では、平成29年度に整備する計画としている。高齢化が進む本町においては、障がい者グループホームの整備は必要性を認識している。</p> <p>施設整備と併せて、運営主体や人材確保・養成が必要である。障がい者及び家族との会合については、年1回以上、「日南町手をつなぐ育成会」等の障がい者団体と意見交換を行なっている。平成29年度予算に、整備に向けた予算を計上できるよう取り組む。</p>

<p>3. 進み行く荒廃農地について</p> <p>①以前の経済福祉常任委員会での農業委員会資料によると、昨年の再生利用が可能な荒廃農地は11.61haで、本年は19.4ha、また、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地は、昨年72haで、本年は80.8haの集計結果が出ている。地区別に見て、福栄地区が特に再生利用が困難と見込まれる荒廃農地(昨年と比較して4.32ha)が増えている。この調査結果に大変危機感を感じている。各地域で荒廃農地を減らすには限界があると思われるが、減らしていく対策をどの様にとられるのか伺う。</p> <p>②特に、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地の地主の大半が、町外に出られた住民票の無い人が多いと聞いている。過疎化が進んだ現象の証拠だが、今後どの様な対策をされるのか伺う。</p>	<p>3.</p> <p>①認定農業者・農地所有適格法人等農地の担い手の育成、中山間地域等直接支払い交付金や農地中間管理事業等の補助事業に有効的に取り組むことにより、農地保全に努めこれ以上荒廃化が進まないように推進していく。</p> <p>②農業委員会として、守るべき農地と、農地として継続して利用できない農地に区分し、前者には農地中間管理事業等補助金を推進し有効利用を促し、後者には「非農地判断」をし、山林・原野化を進めていく方針。</p>
---	---